

## 北海道鉄道本部「みんな集まれ!観楓会」に24人 前段にはパークゴルフ交流会も

好天に恵まれた9月16日、北海道鉄道本部は恒例の「みんな集まれ!観楓会」を岩見沢市北村温泉でおこない24名の仲間が参加しました。前段には「パークゴルフ交流会」を開催して楽しい一日を過ごしました。パークゴルフの優勝は苗穂支部・最上さん、準優勝は滝川支部・佐藤さんで、苗穂支部・宮武さんが3位となりました。ビンゴゲームで1等となった滝川支部・青木さんとパークゴルフ優勝の最上さんには、山形県置賜産直センターから取り寄せた省農薬特別栽培米が贈られて、コメ不足の中で30年来の契約栽培を続けてきた有難さを実感しました。ビンゴゲームの参加者全員に多彩な景品が用意され、新人看護師パワハラ自死事件で全日赤釧路病院とたたかう村山さん支援物販も活用してもらいました。ビンゴゲームでは小樽支部・金丸さんが真っ先にリーチとなりましたが、最終的には何通りものリーチがかかっているのに最後まで「ビンゴ」の声は聞こえませんでした。今月で70歳になり職場から離れる札運支部の奈良さんには、労いと感謝の言葉が参加者から寄せられていました。来年は秩父別での開催も決まり、次回も多くの仲間が健康を保って参加することを約束して、今年の「みんな集まれ!観楓会」を無事に終わりました。

## 全国鉄道本部大会に参加して

建交労全国鉄道本部第27回定期大会が9月14日に開催され、北海道鉄道本部から竹田委員長と最上書記長が参加しました。大会では、物価高騰が続く中で組合員と家族の生活を守るためにたたかった24春闘における各エリア本部の奮闘が報告されました。

西日本では、春闘期に妥結した夏季一時金の支給額に、職場の声を要求にまとめて交渉してさらに上積み勝ち取ったことは、労働組合の力を発揮した取り組みとして原点回帰させてもらえました。

組織拡大の課題では、東日本の関連会社で起きたハラスメントの相談から、不当な労働者への攻撃を許さない建交労鉄道本部の姿勢に社員の共感と信頼が生まれて3名が組合に加入し、他の事業所での拡大を目標に取り組みが広がられています。労働組合として当たり前の活動を粘り強く継続することの大切さを再認識しました。

JR貨物で、車輪に車軸を取り付ける作業時に基準値を超える圧力で押し込んだことを確認しながら、基準値以下の数字を作業記録に記載する改ざんが発覚し、9月11日にすべての列車の運行を停止して安全確認をおこなう事態が発生しました。このことで物流が大混乱して北海道から農産物が送れず、雑誌の到着が遅れるなど影響を目の当たりにしました。JR北海道で発生した2011年の石勝線特急列車脱線火災事故や2013年に起きた大沼での貨物列車脱線事故の検証結果を教訓としていないJR貨物の安全を軽視する姿勢に憤りを覚えました。

JR九州でも、日本と韓国を結ぶ高速船の運行を担っている子会社で、浸水事象を確認後3か月間も運行を続け、行政への報告もおこなっていないことで、国土交通省から責任者らの解任と対策の実施を求める安全確保命令が出されています。2022年4月の知床半島沖で起きた観光遊覧船の沈没事故で、運航会社の金儲けを最優先し安全管理を二の次としてきた経営姿勢が問われており、人命を預かる交通機関としての責任放棄は断じて許されません。

北海道鉄道本部からは、職場の声を集めて要求をつくり粘り強く交渉を続けてきた成果と、黄色8線区と運賃値上げ問題の原点は国鉄分割民営化にあり政府に責任を果たさせて北海道民の大切な鉄道を守るために奮闘する決意を述べました。

今年の定期大会は、50年を超えた全動労・建交労鉄道本部の取り組みの正しさと職場における労働組合の存在意義を確認できるものでした。(北海道鉄道本部委員長・竹田吉宏)